

2016年度(平成28年)収支決算報告(概要)

貸借対照表

(2017年3月31日現在)

(単位:千円)

2016年度は法人として中長期経営ビジョンと中長期経営計画を進める最初の年度です。社会福祉を取り巻く時代・環境が大きく変化してきている中で、その変化に対し、事業の根幹である介護保険事業は、全職員の収支改善の努力によって、黒字に転換しました。よって、2016年度の鎌倉静養館法人全体の収支決算は、1千万円の収益を確保する決算になりました。

介護保険事業の収支については、収支差額9百万円を確保しました。特記すべきことは、特別養護老人ホームは、なりゆき運営ではなく、収支改善に取組み、その努力の成果がありました。通所介護事業所「やまざくら」「りんどう」は職員の適正配置化を実施し、居宅介護支援センターは2月に特定事業所となり、それぞれ収支改善されました。一方小規模多機能型の「材木座あじさいの家」の収支については課題を残しました。

老人福祉法にもとづく軽費老人ホームA型については、昨年度に設立50周年記念事業の一環として積極的に設備等のリニューアルを実施したので、修繕費を抑制し、収支のバランスを図りました。入居者の方々の加齢により、また、かなり高齢での入居の方々が多くなって、自立期から介護期への移行の生活支援が個別の対応になってきました。介護職員の増員が必要となり、収支のバランスを図るのが、だんだん困難になってきました。

介護職員の確保と人材育成は、鎌倉静養館の事業継続の要です。慢性的な介護職員の要員不足の困難にあっても、処遇改善を行い、キャリアパスをきちんと整え、より専門性を高め、介護サービスの質の向上を目指して、お一人お一人を大切に《寄り添いのケア》を実践していきたいと思ひます。

社会福祉法人 鎌倉静養館

資産の部		負債の部	
流動資産	294,218	流動負債	180,127
現金預金	60,668	事業未払金	26,916
事業未収金	80,287	1年以内リース債務	1,143
未収金	279	職員預り金	565
前払費用	2,048	拠点区分間借入金	151,413
拠点区分間貸付金	151,413	未払費用	90
徴収不能引当金	▲ 477		
固定資産	516,636	固定負債	24,255
基本財産	214,386	リース債務	1,048
建物	214,386	退職給付引当金	23,207
その他の固定資産	302,250		
建物	4,329		
構築物	3,902		
機械及び装置	11,505		
車両運搬具	3,333		
器具及び備品	14,377		
権利	32,500		
ソフトウェア/無形リース資産	2,397		
退職給付引当資産	23,207		
社会福祉事業積立資産他	145,000		
軽費事業運営積立資産	55,700		
特養積立資産	6,000		
資産の部合計	810,854	負債及び純資産の部合計	810,854

資金収支計算書

(自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)

(単位:千円)

勘定科目	決算額
事業活動による収支	
介護保険事業収入	525,885
老人福祉事業収入(軽費)	126,299
その他の事業収入	1,375
経常経費寄附金収入	6,585
受取利息配当金収入	36
その他の収入	7,572
事業活動収入計(1)	667,752
人件費支出	466,504
事業費支出	107,059
事務費支出	70,931
その他の支出	2,133
事業活動支出計(2)	646,627
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	21,125
施設設備等による収支	
施設整備等補助金収入	0
その他の施設整備等による収入	0
施設整備等収入計(4)	0
固定資産取得支出	3,154
ファイナンス・リース債務の返済支出	1,143
その他の施設整備等による支出	0
施設整備等支出計(5)	4,297
施設設備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	▲ 4,297
その他の活動による収支	
積立資産取崩収入	7,089
拠点区分間繰入金収入	1,000
その他の活動による収入	0
その他の活動収入計(7)	8,089
積立資産支出	16,926
拠点区分間繰入金支出	1,000
その他の活動による支出	0
その他の活動支出計(8)	17,926
その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	▲ 9,837
予備費支出(10)	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	6,991
前期末支払資金残高(12)	108,720
当期末支払資金残高(11)+(12)	115,711

事業活動計算書

(自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)

(単位:千円)

勘定科目	決算額
サービス活動増減の部	
介護保険事業収益	525,885
老人福祉事業収益(軽費)	126,299
その他の事業収益	1,400
経常経費寄附金収益	6,585
その他の収益	2,442
サービス活動収益計(1)	662,611
人件費	463,841
事業費	107,059
事務費	70,931
減価償却費	26,787
国庫補助金等特別積立金取崩額	▲ 13,422
サービス活動費用計(2)	655,196
サービス活動増減額 (3)=(1)-(2)	7,415
サービス活動外増減の部	
受取利息配当金収益	36
その他のサービス活動外収益	5,104
サービス活動外収益計(4)	5,140
その他のサービス活動外費用	2,133
サービス活動外費用計(5)	2,133
サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)	3,007
経常増減差額 (7)=(3)+(6)	10,422
特別増減の部	
拠点区分間固定資産移管収益	8,990
拠点区分間繰入金収益	1,000
特別収益計(8)	9,990
固定資産売却損・処分損	0
拠点区分間固定資産移管費用	8,990
拠点区分間繰入金費用	1,000
特別費用計(9)	9,990
特別増減差額(10)=(8)-(9)	0
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	10,422
繰越活動増減の部	
前期繰越活動増減差額(12)	246,463
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	256,885
基本金取崩額(14)	0
その他の積立金取崩額(15)	1,000
その他の積立金積立額(16)	13,500
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	244,385